

膝や股関節に痛み はありませんか？

当院では、膝関節のスポーツ外傷・障害と変形性関節症などによる膝関節・股関節の痛みに対する専門的治療を行っています。手術治療だけでなく、リハビリ（四肢、体幹の筋力訓練などの運動療法、ピラティスなど）や装具療法による障害予防のための指導も行っています。

●膝関節のスポーツ外傷・障害の専門的治療が受けられます

スポーツ外傷・障害の治療には、早期スポーツ復帰のために手術手技のみならず、手術前のケアや術後のリハビリプログラムなど専門性の高い知識・技術が必要とされます。当院整形外科では手術治療の多くを**関節鏡**での最小侵襲手術で行っており、習熟した専門医が最新の知識・技術により治療を行い、早期かつ確実なスポーツ復帰をサポートしています。

【対象疾患】

前十字靭帯損傷など膝靭帯損傷、半月板損傷、関節軟骨損傷、関節内遊離体（鼠）
膝蓋骨脱臼、離断性骨軟骨炎など

●変形性膝関節症の専門的治療が受けられます

中高年の膝の痛みの中には、投薬、注射やリハビリなどの治療を受けても効果が見られないことがあります。このような場合には**半月板損傷**や**関節軟骨損傷**（関節内遊離体）が原因となっていることがあります。半月板損傷や、関節軟骨損傷は、レントゲン検査では判明しにくい**MRI検査**を行い、検査で異常が認められる場合には、小さな切り口で大きな効果が得られる**関節鏡視下手術**をおすすめします。

変形性膝関節症の中でも、軟骨のすり減りが進行した**末期の状態**では**人工膝関節手術**を行っています。人工膝関節手術は傷んだ関節の表面を取り除き、人工の関節に置き換える手術で、**全置換術**と**部分（単顆）置換**の2種類の術式があり、当院では患者様の年齢や変形の程度、生活様式などを考慮して、最適な手術方法を選択しています。

●人工関節手術が安全に受けられます

関節軟骨がすり減る**変形性膝・股関節症**の痛みのために日常生活が思うようにならない方には人工関節の手術を行っています。感染予防のためバイオクリーンルームで手術を行い、出血を少量にする工夫をしていますので、ほとんどの場合は輸血を必要としません。また、手術後の痛みが少ないように**最小侵襲手術法**を用い、さらに麻酔科と連携して神経ブロックなどいろいろな鎮痛法を組み合わせで使用しています。

●人工関節以外に自骨を用いた骨切り術の手術も行っていきます

人工膝関節手術は良い手術方法ですが、耐用性に問題があるため30～40代で手術を受けるとその後何回も再手術が必要となります。そのため、**比較的若い人の変形性膝関節症**ではO脚変形によって内側に偏った過重なストレスを自分の骨を切り、少し角度を変えることにより、軟骨障害の少ない外側に移動させる**高位脛骨骨切り術**の手術を行っています。

【各手術方法】

関節鏡 断裂した半月版



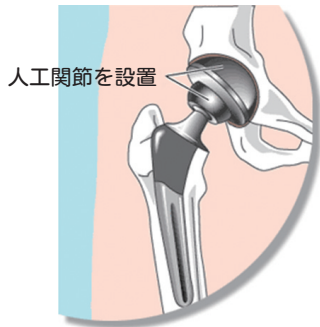
人工膝関節全置換術



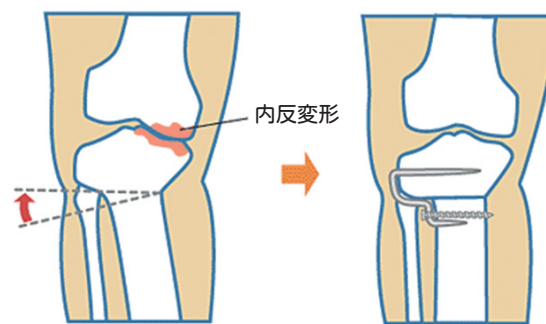
人工膝関節単顆置換術



全人工股関節置換術



高位脛骨骨切り術



当院13階リハビリテーション室と各種トレーニング機器

